

すべてが重ね合つて「自然賛歌」なんです。(伊江)

「楽しかったよ」と言われるのが一番嬉しいですね。(高良)



伊江 隆人 × 高良 知佳

いえ りゅうじん

美術家(1981年より抽象水墨、拓版コラージュ、ミクストメディア)那覇市生まれ。1973年に大東文化大学卒業。毎日書展入選(71年)。ホアン・ミロ国際展に「〇Δ口」が入選(84年)。ポーランド文化省主催国際展入選(85年)。ニューヨークのセントラルパークにて個展(88年)。レイ・ウィトン主催2003イヤーエンドパーティーにて作品招待(東京)。

たから ともか

医療法人陽心会理事。臨床美術士。2002年に帝京大学卒業後、臨床美術士5級を取得(03年)。その後、4級(04年)、3級(05年)と昇級。現在、月3回金曜日にデイサービスセンター安里にて絵画教室を主宰している。日本臨床美術協会資格会員。日本臨床美術学会会員。

様々な素材を用いて独自の世界を創造する現代アーティストの伊江隆人さんと、絵画教室を通して高齢者の五感を引き出して癒しを与える高良知佳さん。今月はこのお2人が楽しくセッションします。

「コミュニケーションが作品の源泉」

高良 私と伊江さんは隣所同士でいろいろお付き合いさせてもらっていますが、このあたりの方は皆さんよくあいさつをされますよね。先日、近くの通りを歩いていたら見知らぬ男の子が大きな声で「こんにちはー」って笑。びっくりしました。

伊江 嬉しいよねー。このあたりはオジーやオバーからワラバーまで、みんなあいさつするんですよ。「この前の台風すごかったねー」だからよー、怖かったねーという会話だけで嬉しいんですよ。何気ないユンタクを通してコミュニケーションの中から物語が生まれてくるんです。あと琉球語にもこだわっています。例えば、津波のことをシガリナミ、竜巻はルー、めだかはタカマミ、ジュゴンザンというふうに、作品にも直接書き込んでいます。お年寄りの

方にも「これなんていう意味ですか」って聞かれますよ(笑)。

高良 私もほとんど分からないです(笑)。ところで、伊江さんは先頃、展示会を開かれたそうですね。

伊江 はい、7月末に那覇市のリウボウ美術サロンで個展「自然賛歌」を開催しました。僕は学生時代から一貫して平和「自然」生物「琉歌」「おもろ」をテーマにしてきました。在学中の71年には、復帰前の沖縄の現状を自作の琉歌「珊瑚礁の岩壁に波が烈しく怒り叫ぶ」と毛筆で表現した「怒り」という作品が毎日書展の近代詩文書部門で入選しました。その時は雅号印も珊瑚を削って作ったんですよ。卒展では色紙の作品に加え、竹や珊瑚、石灰岩に印刀と毛筆で彫書を仕上げ展示しました。あの頃はアダン製の筆や墨も自分でつくっていたんですよ。そして81年の「あかばな」の頃からは毛筆やアダン筆、印刀に加え、ハサミ、ハンマー、ペンチ、コアドリルなどを使って文字や記号、線を自在に表現しています。また紙、布、木板に墨や顔料で描くほか、箔や手染めの布、琉球の古布、天気・環境生物に関する新聞記事、貝、石灰岩、珊瑚、針金、発泡スチロール、拓版、タイヤで作

る文字を貼り付けたりもしています。それに琉歌やおもろ、生物を表す琉球語を加えます。それらすべての素材が重なり合って「自然賛歌」となるのです。

臨床美術士とは

高良 私は、絵画教室を始めて今年で9年になります。高齢者の方、例えばデイケアに通われている方やグループホームに入居されているおじいちゃんおばあちゃんですね。絵画教室を開くにあたっては、臨床美術士という資格を取得しました。これは日本臨床美術協会が専門的な講座を終了した者に対して資格認定するものです。臨床美術士とはアートプログラムを通して参加者の感性を引き出し、生きる意欲の創出にまでつなげていく専門家で、教育や福祉の場で活躍している方も多いんですよ。現在沖縄には約1000人の資格取得者がいらっしゃるのですが、実は私が県内初の臨床美術士なんです。私を含めて4人の方が3級の資格を取得していて、あの方方は4級もしくは5級です。

伊江 なるほど。教室は具体的にどのような進めていくのですか。

高良 一般的には「量感画」というものから始めます。例えばリンゴを描く場合には、まず重さを感じたり、においを嗅いでみたり、食べてもらったり、あと食べ方やリンゴにまつわる思い出などを話してもらってから実際に描いてもらいます。普通だと外観から描いていきますよね。それを中身から、リンゴの中心の部分から順番に描いていくんです。初めは緊張している方でも、慣れてくると絵がだんだん大きくダイナ

ミックになってきます。最初は「描かない」

「見ているだけでいい」とおっしゃる方でも徐々に慣れてきて、その方なりの絵を描かれるようになります。回数を重ねるうちに無口だった方が明るくなったり、五感を刺激することによって感性が豊かになっていくのがわかります。

伊江 同じ果物でも色・香り・食感がそれぞれ違いますからね。

高良 やはり皆さん、食べ物の絵を描くときは顔色が変わりますね。もう最初からニヤニヤしたりして(笑)。好きな食べ物を描く時は画面からはみ出すほど大きく描いたりするんですよ。いっぱい食べたいのじゃない(笑)。

伊江 分かりやすいですねー(笑)。作品というのには対象をただ描くのではなく、それを膨らませることが大切です。一歩踏み出して自分なりに表現することが大事ですね。

「ピカソになったみたいだ」

高良 私たちの教室は3人体制で運営しています。1人がメインに立って説明したり絵を描いたりする間に、サブのスタッフ2人が受講されている方々の様子を見てまわります。筆の進まない方には「こういう色もありますよ」などとアドバイスしたりしたりして。けっこう皆さん楽しそうで、長続きしている方が多いんですよ。

伊江 私も学校や市町村に呼ばれてイベントを開く時がありますが、ガラサー(ガラス)を描くにしても那覇の子供とやんばるの子供では違うんですよ。やんばるの子供たちはガラサーが何を食べているのかよく知っているから、作品もおのずと変わってくるんですよ。

高良 義務教育では「こう描かなきゃいけない」というのがありますよね。臨床美術にはそういうのがないんですよ。画材も絵の具や墨汁を使って自由に描いてもらっています。

あと珍しい画材、例えばTシャツやガラスにも描いてもらったりしています。クリスマスの時期にはキャンドルも作ったりしているんですよ。ある時、いつも受講されているおじいちゃんが「ピカソになったみたいだ」ととても喜んでくれたんですよ。そしてその方の娘さんも、臨床美術士の資格に挑戦することになって(笑)。とても嬉しかったですね。

それぞれの原点

伊江 私は小さい頃から、親父の影響で書をやっていました。小学校6年の時に「青松多寿色」という禅語を作品にしたいと親父に相談したら「松は今帰仁が有名だけど、行くか?」と言うから「うん、行きたいよ。父ちゃん」というわけで、那覇の三原から今帰仁村の仲原馬場まで2人でバスに揺られて行ったんです。そのときの作品が新聞社の図画作文書道コンクールで書道部門で特選をとったんです。それがこの世界に入る最初のきっかけですね。

高良 伊江さんは元々、表現するのが好きだったんですね。実は私、小さい頃は図画とかそんなに得意ではなかったんですよ。しかし今の資格を取ってからはずいぶん変わりました。受講者の皆さんの楽しそうな顔を見るたびにこちらもとても楽しくなるんです。教室が終わって帰るときに「楽しかったよ」と言ってもらえるのが一番嬉しいです。

 **医療法人 陽心会**
理事長 **高良 健**

 **社会福祉法人 陽風会**
代表理事 **高良 健**

大道中央病院
那覇市安里1-1-37 TEL.098-869-0005(代)
美容形成部門 TEL.098-869-0066
リハビリテーション部門 TEL.098-869-0050

メディカルプラザ大道中央
那覇市宇土道123 TEL.098-886-0007(代)
一般内科部門 TEL.098-869-0711
循環器部門 TEL.098-886-0072
糖尿病部門 TEL.098-886-0115
人工透析部門 TEL.098-886-5151
検診部門 TEL.098-886-0078

小規模多機能型ホーム大道
那覇市大道94-3 TEL.098-885-0018

地域交流センター大道
那覇市大道94-3 TEL.098-885-0056

グループホーム大道が丘
那覇市大道94-3 TEL.098-885-0036

(提携)メディカルエステ大道
那覇市安里3-1-3 TEL.869-0018

(提携)福祉用具貸与・販売事業所
那覇市安里128 TEL.098-885-0100

(提携)ヒルズガーデンクリニック
那覇市松川20-1 TEL.098-885-0333

(提携)ヒルズガーデン那覇
那覇市松川20-1 TEL.098-885-0300

介護老人保健施設 やすらぎの里
那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030

在宅総合ケアセンター陽心会
那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030

大道老人訪問看護ステーション
那覇市大道128 TEL.098-885-2885

グループホームたかまーみの家
那覇市安里3-1-47 TEL.941-0080

(提携)那覇市地域相談センター末吉
那覇市首里末吉4-6-1大明ビル1F TEL.098-885-0178

末吉老人福祉センター
那覇市首里末吉2-14 TEL.098-886-3510

(提携)有料老人ホーム健寿の杜
那覇市安里3-1-47 TEL.098-941-0070

デイサービスセンター安里
那覇市安里388-5 TEL.098-886-0328

デイサービスセンター三原
那覇市三原1-31-20 TEL.098-840-0051

辻町若狭クリニック
那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-0012

(提携)小規模多機能型ホーム若狭
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550

(提携)地域交流センター若狭
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0552

(提携)グループホーム若狭の家
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551

壺川老人福祉センター
那覇市壺川2-3-11 TEL.098-853-1139

ケアハウス常夏の島
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0036

小規模多機能型ホーム牧志
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025

地域交流センター牧志
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025

小規模多機能型ホーム三原
那覇市三原2-7 TEL.098-840-0027

地域交流センター三原
那覇市三原2-7 TEL.098-840-0027

(提携)小規模多機能型ホーム辻
那覇市辻1-6 TEL.098-951-0070

(提携)地域交流センター辻
那覇市辻1-6 TEL.098-951-0070

(提携)有料老人ホーム松風邸
那覇市辻2-10-4 TEL.098-869-8557

那覇市地域相談センター若狭
那覇市若狭3-5-17 TEL.098-863-1165

辻老人憩の家
那覇市辻2-14-1 TEL.864-0580